

「クマ」を近づけない 「クマ」の被害をなくすために

ご利用のみなさまへのおねがい

鹿沼市自然体験交流センター

## 1 食べ物の扱いについて

□菓子類等の食べ物を、持ち歩いたり、野外炊事場等の野外に置きっぱなしにしないでください。

□決められた場所と時間以外で、外で飲食することはやめましょう。

□食事後は、ゴミは分別して指定のゴミステーションに入れてください。また、水道や排水溝の生ごみも処理をしてください。

□余った食材は、車中か部屋に容器に入れ保管してください。

## 2 歩き方・行動のきまり

□森や山道に入るときは、必ず複数人で行動し、ひとりで離れないようにしましょう。

□林の中や見通しの悪いところでは、話し声を出したり、鈴や笛をならしたりして、人がいることをクマに知らせます。

□早朝や夕方など、暗くなり始める時間帯は、屋外での活動を控えてください。

□「ちょっとだけだから」と勝手にコースから外れたり、散歩に出たりしないようにしましょう。

## 3 クマを見かけたときは

クマを見かけても、近づかなければ多くの場合はそのまま立ち去ります。

次のことを守って、落ち着いて行動してください。

□クマに近づかない、追いかけない、石を投げたりしないでください。

□写真や動画を撮ろうとして、近寄らないでください。

□見かけた場所から静かに離れ、走らずにゆっくり戻りましょう。

□すぐに近くの職員か団体のリーダーに、「いつ・どこで・どのくらいの大きさだったか」を伝えてください。

#### 4 クマと出会ってしまったとき

あわてて走って逃げると、クマを刺激してしまうことがあります。

次のポイントを思い出してください。

大声でさげばないで、落ち着いてその場で止まりましょう。

クマから目を離さないようにしながら、ゆっくりと後ずさりして距離をとります。

指導者や職員の指示にしたがい、列をみださないようにして行動します。

子グマを見ても、絶対に近づかないでください。近くに母グマがいることがあります。

クマにけがをさせられた人が出たときは、センター職員が救急車や警察、市役所と連携して対応します。

利用者の方は、職員の指示にしたがって安全な場所へ避難してください。

#### 5 室内・夜間のすごしかた

夜間は、職員及び警備員の許可なく建物の外には出ないでください。

テント泊の場合は、決められたテントサイト以外に勝手にテントを張らないでください。

テントの中には、食べ物を持ち込まないようにしてください。

窓から外に食べ物を投げたり、野生動物にエサをあげたりしないでください。

#### 6 センターとみなさんの協力

鹿沼市自然体験交流センターでは、職員が毎日クマの出没情報を確認し、周辺環境を点検しています。

みなさん一人ひとりがルールを守ってくださることで、「安全で楽しい自然体験」と「クマのすむ森の保全」の両方が守られます。